

(7) 我が国の次世代を担う人材育成の機会や環境の不足

・我が国の中枢である関東地方において、これからの成長分野を担う人材育成の機会や環境の不足、豊かな心を養う自然学習・生涯学習・社会活動を支援するための場・仕組みが不足している。

○次世代を担う人材育成の機会や環境の不足

・我が国の中枢である関東地方において、15～29歳の若年層や大学生の我が国に占めるシェアが高く(図1-18)、また、関東地方の大学は他地域出身者を数多く受け入れているものの、これからの成長分野を担う人材育成の機会や環境が不足しており、関東地方において我が国の次代を担う人材を育成することが期待される。

○豊かな心を養い、活動を支援する場や仕組み不足

・関東地方は中山間地域や沿岸部・離島における多様な自然環境や資源、充実した都市環境を有しているにも関わらず、豊かな心を養う自然学習・生涯教育・社会活動を支援するための場、仕組みが不足しており、これらの充実が求められる。(図1-19)

図1-18 大学の集積

関東地方における大学生数・大学数は3大都市圏の中でも多く、人口と比較してもその割合は高い。

注:大学の学校数は大学本部の所在地による。学生数は在学する学部、研究科等の所在地により、学部のほか、大学院、専攻科・別科の学生ならびに聴講生を含む

出典: 文部科学省調査設計課
「学校基本調査報告」速報

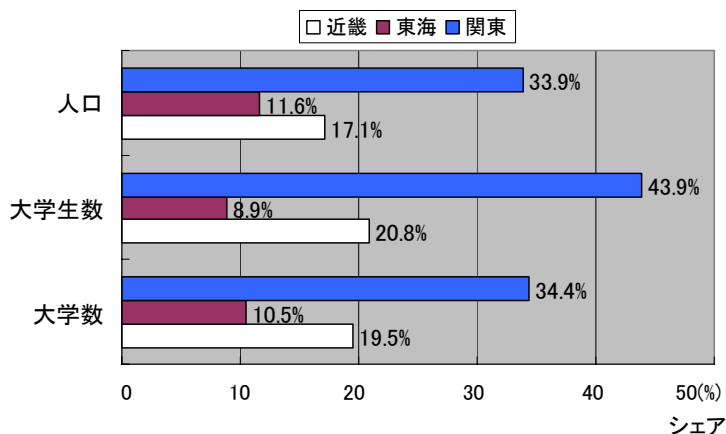
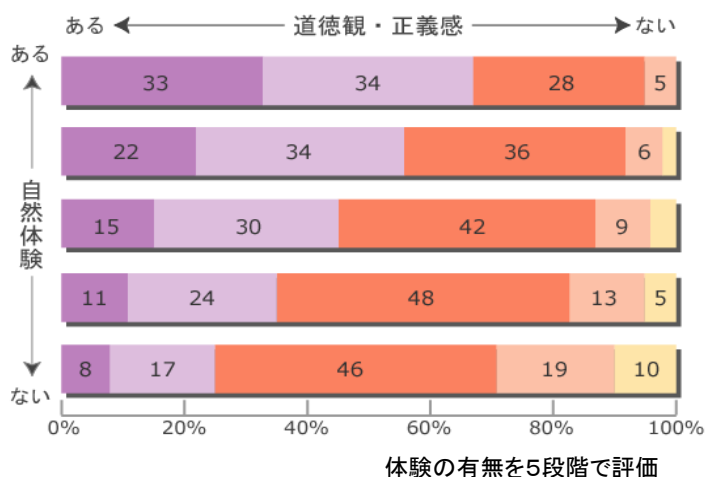


図1-19 自然体験と道徳観・正義感

小中学校の生徒を対象に自然の中での体験活動の量と道徳観・正義感の関係について調査をした結果、自然体験を通じて子供は道徳観や正義感を養うことが示された。

【自然体験】「チョウやトンボ・バッタなどの昆虫をつかまえたこと」「海や川で貝を取ったり、魚を釣ったりしたこと」等
【道徳観・正義感】・あいさつする
・悪いことをやめさせる
・席をゆずる 等
【対象】小中学生 11,123人



出典: 文部科学省
「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」(H10. 2)より